

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	りんくるブレバ 単位1		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 3日 ～ 2025年 3月 21日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32 (回答者数)	22
○従業者評価実施期間	2025年 3月 3日 ～ 2025年 3月 21日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	パソコンやSSTなどのカリキュラムによる社会性の向上がはかれる。	視覚優位の子や、聴覚優位の子に合わせて、イラストを用いたり、小学生にもわかるようにかみ砕いて説明をしたりするように心がけている。	小学生高学年、中高生が多い事業所とはなるが、大人になるために少しずつ成長できるよう、社会人としてのスキルを養うためのカリキュラムを取り入れていく。
2	お出かけで興味や関心を養う。	地域のイベントや、工場見学、美術館等に足を運び、様々な事柄に興味や関心を持ってもらうよう取り組んでいる。	工場見学などに行った際には、何を学べたか子ども達に話を聞き、子どもが意見を言う場の提供や、より物事に関心を持てるようにしていく。
3	進学先への意識を向けていく。	県内にはどのような学校があるか。学生のうちにどのように過ごすといいかなど話をする場を持ち、将来について意識しているように取り組んでいる。	実際に学校見学に行ってもらったり、職員も学校説明会に参加したりするなど、子ども達に体験してもらう事により、より身近な将来を感じてもらえるようにしている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	特定のカリキュラム利用の希望者が偏ってしまう。	取り入れている様々なカリキュラムの魅力を子ども達にもわかってもらえるよう、どのようにしていくかが課題。	カリキュラムの名前だけではイメージがつかない場面も多いと感じるので、イラストや実際に体験授業のような物を行い、イメージがつきやすいようにしていきたい。
2	特定の地域のみの利用受け入れとなっている。	送迎時間の兼ね合いから、同じ市内でも受け入れができていない状況がある。	送迎時間の調整や、保護者様からご協力頂いて、送迎範囲外も受け入れ可能にできないか工夫していきたい。
3	来客対応時に駐車場が足りなくなる。	駐車台数が少ないため、来客対応時に駐車場が足りなくなるケースがある。	外部の駐車場を複数台契約し、モニタリング時などにスムーズに駐車可能なスペースを確保していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 りんくるブレバ 1単位

公表日 令和 7年 5月 7日

利用児童数 32

回収数 22

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22				・他事業所に比べて広くて落ち着いた雰囲気であり、普段の活動に支障はないように見えるが、人数が多いときや、運動系の活動では、やや手狭に感じる。	日々の活動等のスペースは、十分に確保しております。レク活動等、活動範囲に応じて、十分な広さが必要であれば場所を借りたりする等し対応しております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19	3			・支援プログラムと市の契約で配置されていると思いますが、どのような専門資格や、経験があるのかよくわからず、判断がつきません。 ・新人職員について自己紹介等があれば嬉しいです。	指定基準を満たした職員配置をしております。専門性については、本事業所ホームページよりご紹介しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	5			・1階の玄関先に手すりはないが、トイレなどにはあります。今後全体的に見直すとともに安心できると思います。	フロアに段差がなく、トイレには手すりを設置しております。他の場所に手すりの設置が必要かは今後検討していきたいと思っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22				・中学になってからはブレバになり、遊ぶ環境から人と人が話し合ったり学び合うような環境になりました。 ・オープンスペースで仕切りがあり活動に集中できる。	
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	1		1		・理解が不足していると感じられている点が無くなるよう、アセスメントにより力を入れていきたい。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22					事前にアセスメントシートにて児童・保護者様の要望を把握し、支援者全員で協議の上、個々のニーズに沿った個別支援計画の原案を作成。本人・保護者様に実施可能を確認し、了承後本プランを作成。実施が難しい場合は、再度要望を聞き取り、内容を見直しております。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22				・情報が適切で理解しやすい内容です。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22					・平日は活動プログラムの選択制活動を固定導入へ変更し、先の見通しがたてられるよう子ども達自身で選択してもらい、自立に向けてた支援に重きを置きながら、必要に応じて、個々の状況に合わせた工夫をするなどの配慮をしております。長期休み・土曜日はリフレッシュ日を設け、月々のイベント等を充実した内容になるよう計画し、実施しております。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	15	7			・地域の子ども達と過ごす機会は大切だと思いますが、本人の特性を考え、無理なく自然な形で関われる場があるとより良いと思います。	野外活動にて、地域の施設利用や近隣の公園での遊びを通して、地域の子どもたちと自然に触れ合う機会を設けております。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21	1				見学や契約時に、ご説明させていただいております。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21	1			今までの様子などをまじえながら説明されています。	・個別支援計画書の説明が伝わるように説明を細かく行えるようにしていきます。

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	1		5		ベアトレの研修があった際には周知するよう努めていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	22				・中等部移行後は、何事もないとかは思いますが、利用時様子の共有がほとんどない。	中高生については、小学部と異なり、本人が家庭で状況を伝える力を育むことを重視しており、利用時に本人が記入した「振り返りシート」を毎月一回まとめて共有しております。 なお、ご希望に応じて個別に利用時の様子の共有も行っておりますので、ご希望の際はいつでもご相談ください。 引き続きご理解とご協力をお願いいたします。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21		1		・相談支援専門員、学校を含めた定期的な会議等はありませんが、相談の機会をもっと増やして欲しいです。	・保護者様からのご希望があれば面談の回数やタイミングを柔軟に調整できるよ努めております。相談しやすい環境づくりと育児支援の充実を図っていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	17	4	1		・保護者会等を年に1回ほど開催されていますが、参加出来ていません。参加出来なくても後日内容をシェアする機会があるとよいと思います。	今年度は2月に1度開催いたしました。以降に利用開始したご家庭には、保護者様会が開催されたことの周知が不十分でありましたので、今後は情報共有する機会を設けていきたいと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	4			・体制はあると思いますが、これまで特に困ったことがなく苦情がない為、周知説明が適切であるかの判断が難しいです。	保護者様へ契約時に体制等について丁寧に説明し児童に対しては「子ども用相談窓口」を定期的開催、困り感や希望の傾聴を実施し、ご相談や苦情等があった際には迅速かつ適切に対応する体制を整備しております。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22				・電話等で何かあればご連絡いただいています。	今後も子どもや保護者様との意思疎通・情報伝達のための配慮を心がけてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	21	1			・活動等の様子は発信してもらっています。自己評価等はどちらで確認できるかが知りたいです。	毎月、活動の様子をブログやLINE等を活用し発信しております。ホームページでも活動概要や自己評価の結果を掲載しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	1				秘密を保持するべき旨を、職員との雇用契約の内容としております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	1			・防災・火災のマニュアルがあるのを知っています。他のマニュアルがどこにあるのかわかりません。	各対応マニュアルは、契約時に周知・ご説明させていただいております。周知方法を今後検討してまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	3			・火災・地震訓練が行われているのを知っています。どこまで評価するのかの判断は難しいです。	半年に1度、避難訓練を実施し、実施内容等をブログでも掲載しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	1			・実際の現場を見ていないので。	・安全計画の周知方法を考えていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	2		4	・実際の現場を見ていないので。 ・公園で遊んだ時など、小さなすり傷でも連絡を入れてくれています。	・事故などがあった際にはご連絡し、状況説明をするよう心がけています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	21	1			・いつも楽しみに通っています。 ・個々の特性に合わせた支援が行われ、安心・安全に通えています。	・安心感を持って通所できるように、対人関係にも気をつけて配慮していきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	20	2			・学校以外の友達が出来るととても楽しんでるようです。 ・「嫌がらずに通っていますが、「楽しさ」とまでは言わないのでどちらとも言えない印象です。	友達関係が広がり、通所を楽しみにしてくれているのは大変嬉しいことです。子ども達の表情や様子丁寧に観察しながら通所が楽しみになるよう環境づくりに努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	22				・長期休みや土曜日は1日預かり等を定期的に開催してもらえてとても助かります。 ・SST・野外活動を通して、様々な経験が出来き子ども達自身で気づきや、成長を感じられるようで嬉しいです。 ・個々のペースを大切に支援してくれるので十分な配慮に感謝しています。 ・感謝しかありません。 ・リラックスして過ごせるよう色々と配慮いただいています。	日頃より事業所への療育活動等に対してのご理解とご協力ありがとうございます。今後も児童が自分らしく成長していけるよう支援の充実を図っていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和 7年 5月 7日				
りんくるブレバ 1単位						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・活動内容に応じて、グループをわけたり、時間帯を調整するなど、指導訓練室が過密にならないよう工夫している。事業所内には、個々にパソコンデスクの用意と休憩スペースを設置し、比較的に広いスペースを確保しているため、児童一人ひとりが落ち着いて活動できる環境づくりに努めている。	・児童数や活動内容に応じてスペース配置を見直し、よりゆとりのある環境づくりに努め、休憩スペースの活用方法も工夫し、過ごしやすさのさらなる向上を今後検討する。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		・1階はバリアフリー化である。	・施設は2階建てであるため、足腰に不安のあるお子様や保護者様には、ご希望を優先しつつ、1階でのご案内や入所対応などの配慮を行っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		・日々、振り返りを行いより良い支援ができるように心がけている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・毎年保護者等向け評価アンケートを実施し、保護者様の意向を基に業務改善に努めている。	・アンケート結果を基にした改善策について、今後は多くの職員が参加できるよう定期的な職員ミーティングの体制を整えていくことを今後検討する。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・毎朝のミーティング開催にて職員の意見等の握を実施。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7		・外部評価があるのかを認識していない。	・外部評価は自治体による(実地指導)のみになる。その他の外部評価が今後必要であれば検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・社内研修を行っている。外部研修はZoomなどオンラインを使用し参加している。	・研修の開催内容アーカイブやシェア等を行い職員全体に周知する方法を今後検討する。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		・全ての支援者から、5領域に沿った利用児童の日々の評価に合わせ、保護者様からのアセスメントを用いて、ニーズの分析に役立てている。	・個別支援計画書の作成手順を職員全体への実施周知方法を今後検討する。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		・契約時や、個別支援会議等にて事前に事業所で作成したアセスメントシートにて保護者様とお子様の要望等を聞き取りし把握している。	・標準化されたアセスメントシートに該当しない場合には今後変更を今後検討する。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・土曜日・長期休みに関して、正社員が児童の状態や、成長段階によって必要な支援内容を踏まえ活動プログラミングを立案・児童発達支援管理責任者が内容を確認した上で実施している。	・プログラム立案時に、より多角的で柔軟な支援を提供できるよう、多くの職員が参加できる体制を整えていくことを検討する。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・野外活動や成長段階合わせた必要なSST(ソーシャルスキルトレーニング)を取り入れ様々な経験ができるよう工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・毎朝、前日の振り返りや本日の支援についてミーティングを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		・支援終了後ではなく、翌日に前日の振り返りを行っている。	・日々の社内ミーティング議事録を作成・共有している体制を今全職員が議事録を確認し合い、必要な情報が行き届くよう声かけや確認の習慣づけを行い、支援の質向上につなげます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・正社員・パート、全ての支援者から、5領域に沿った利用児童の日々の評価記載を基に個別会議を行い、計画書の見直しをしている。	・職員全体周知方法として、会議議事録を作成し、回覧にて共有しているが、職員全体への周知方法を今後検討する。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7		・児童一人ひとりの特性や成長段階に応じた柔軟な支援に心がけ、必要に応じて組み合わせや、順序を個々によって対応することで効果的な支援に努めている。	・全職員がガイドラインに基づいた支援の考え方を理解し、実践できるよう勉強会や振り返りの機会を増やし、支援の質の統一と向上を目指します。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		・活動内容の選択制を導入することで、自己決定力を育てている。	
関係機関や保護者	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・普段支援している職員からの事前に詳しくお子様の様子や変化を聞き取り、児童発達支援管理責任者に共有する体制を整え、会議に参加している。	・サービス担当者会議の役割や参加体制について、児童発達支援管理責任者への共有の流れを明確化することで、すべての職員が一貫した理解のもとで連携できる体制を整える。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		・対象保護者様から児童の主治医による「活動についての留意点や、投薬の取り扱い方などの留意点」を共有してもらい安全に利用できるよう努めている。	・児童ファイルを定期的に内容を確認・熟読できるよう、閲覧のタイミングや方法を明確にし、全職員が共通理解を持って支援に携われるよう体制を整える。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		・各学校とのスクリレ(情報共有ツール)登録を積極的に行い、情報共有に努め、スクリレを開催してない学校に関しては、週の初めに電話にて下校時刻の確認や送迎時に週間日程表を頂き共有している。急な下校時間の変更等は保護者様と連絡を取り合い、送迎トラブルの無いよう努めている。	・職員間での共有をさらに徹底し、誰が対応しても正確な情報伝達ができるよう確認体制を強化し、全職員が安心して対応できるよう、情報共有と連絡体制の質を高めていくことを目指します。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	・対象児童がいない。	今後、対象児童が出た場合には、全体的に周知出来るように体制を整えていく。

との連携	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1	・事例がない。	今後、対象児童が出た場合には、全体的に周知出来るように体制を整えていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7		・研修があれば参加したい。	専門性機関との連携、研修の周知方法を検討する。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	1	・野外活動や事業所近くの公園遊びでは、地域の児童との交流がある。	・今後は地域児童との交流機会を増やすように体制を整える。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	7		・児童発達支援管理責任者が参加している。	・今後、参加対象者・人数に制限のない研修は積極的に参加できるよう体制を整える。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・連絡ノートやLINEを通して保護者様へ日頃の様子や出来事を伝えている。	・職員間での情報の整理・共有を徹底し、保護者様と全職員が共通理解を持てる体制を整えます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		・外部のペアレント研修実施の案内共有や、電話にての相談は常時行っている。	今後は、保護者会等に外部講師を招いてペアレント・トレーニングの機会を検討する。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		・契約時に保護者様にしっかり伝わるように丁寧に説明を行っている。	・児童ファイルに運営規程や支援内容、利用者負担に関する資料を全て整備しているため、今後は職員が定期的に内容を確認・熟読できるよう、閲覧のタイミングや方法を明確にし、全職員が共通理解を持って説明できる体制を整える。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・電話やLINEを活用して保護者といつでもやり取りできる環境を整えています。	・保護者様からの相談内容を適切に共有し、支援に役立てるとともに、保護者の悩みに対してより的確な助言ができるよう、職員間での情報共有と対応力の向上に努めます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7		・今年度の保護者会は1回の開催であったが、中高生移行児童保護向けに合同説明会毎年9月に開催している。	・保護者会の開催内容アーカイブやシェア等を行い職員全体に周知する方法を今後検討する。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・玄関先に苦情ボックスを設置し、いつでも相談できる環境を整えるとともに、日頃から電話やLINEにて保護者様の相談に応じ、苦情があった際には迅速かつ丁寧な対応を実施している。	・苦情対応の体制を全職員がその手順や役割を正確に理解し対応できるよう、定期的な研修やロールプレイを通して対応力を高められる環境づくりを目指します。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		・会報等の発行はないが、行事予定は予約表で共有し、連絡は電話やLINE必要に応じて公文も発行、支援方法はホームページにも掲載し対応している。活動の様子もブログ等で発信し保護者様に情報共有を行っている。	・今後は情報をより見やすく整理し、職員間で話し合い、より伝わりやすい情報共有を目指す。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		・年に1度発表会を開催し、保護者様のご家族、その他知り合い、関係機関者(相談支援員・学校)を招待をしている。	・事業所行事の一部(夏祭り等)に招待・地元消防や自治会と連携し、防災訓練を共に実施・地域で開催されるボランティア活動に参加するなど機会を設け地域との交流を積極的に作ることを検討する。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		・入社時と契約時にマニュアル内容の説明を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・火災・地震・津波・不審者の各災害を想定した避難訓練を、半年に一度のペースで順番に実施し、児童と職員の安全確保と対応力の向上に努めています。	・全職員に対して、防災訓練に関する共通理解が深まるよう周知を徹底していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1	・保護者様を通して、主治医から頂いた支援看護指示書・服薬指示書等を職員全体に周知し発作対応に備えている。	・全職員に対して、共通理解が深まるよう周知を徹底していきます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・インシデント・アクシデント報告書の作成を実施し、全事業所で確認できるよう共有を工夫し、日々安全に支援できるよう努めている。	・インシデント・アクシデントに至らなかった小さな気づき(ヒヤリハット事例)も職員間で共有できるよう、ヒヤリハット記録様式作成を今後検討し、報告しやすい環境を整える。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		・現在、身体拘束を必要とする児童はいませんが、万が一に備えて指針やマニュアルを整備し、新人研修等を通じて対応方針を職員全体で共有しています。冷静かつ適切な対応ができるよう、継続的な確認と研修を行っています。	・身体拘束が発生しない支援を引き続き実施できるよう、予防的な支援方法を見直し、マニュアルや研修内容を定期的に更新し、万が一に備えた共通理解と対応力を維持します。